

### 1 経営的特徴と導入方法

ヒペリカムの園芸種にはほふく性のものと立性のものがあり、立性の種は実物切り枝として使用され、ほふく性の種は花が大きく、切り枝やグランドカバークロープに利用される。

草丈は立性、高性の種で100～150mであるため比較的低木の花木として扱える。

毎年、株からほう芽・伸長してくる枝を切り枝に利用できる利点がある。

### 2 生理生態的特性と適応性

北半球（4種が南半球）の温帯に広く分布し、約300種があるヒペリカム（オトギリソウ）属には木本と草本があり、いずれも小低木か小草本である。中国原産のビヨウヤナギやキンシバイが庭木として古くから栽培されている。近年、この2種の他にも導入され、庭木やグランドカバーなどに広く利用されるようになってきた。

枝物として利用されているのは、H・アンドロサエマムの園芸種が殆どである。

現在の栽培品種は比較的耐寒性はあるが、マイナス10℃程度までと言われている。

6～8月頃に花径2cmぐらいの黄色の花を枝の先端に3～10個程度着ける。切り花としても利用できるが、花後の実付きの方が利用価値がある。

### 3 作型と品種

作 型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地 普通栽培	定植年	◎ _____ [ ] _____											
	次年度以降	_____ (台刈り) _____ [ ] _____											

#### (1) 作 型

夏から秋にかけて実物として7～9月に収穫・出荷する。

#### (2) 品 種

「オレンジフレアー」：実は濃オレンジ色で大きさは1cm程。色が鮮やかで艶があり、先端がやや尖って細長い。

「エクセレントフレアー」：オレンジフレアーが苗生産が難しく、また葉焼けすると葉が茶色～赤色となり、商品性が低下する欠点があり、これを改善するため育成された品種。

上記の品種以外にも多数の品種があり、実の色や大きさ、早晩性、さび病抵抗性など多様化してきている。

表1 ヒペリカム品種特性表

品 種 名	実色	実のサイズ	ステムの長さ	早晩性	さび病抵抗性	葉焼け	コメント
エクセレントフレアー	赤茶色	中	70～80	中生	普通	少ない	栽培しやすい
キングフレアー	赤茶色	巨大	80～120	中生	比較的抵抗性あり	少ない	実が非常に大きく、ステムが伸びやすい
クイーンフレアー	赤茶 オレンジ	小	60～80	中生	比較的抵抗性あり	少ない	実の色が良い
スカーレットフレアー	赤茶 オレンジ	大	80～120	晩生	抵抗性あり	少ない	実の色好く、さび病耐性がある
デュアルフレアー	多少茶色がる オレンジ	中	60～80	極早生	普通	少ない	極早生の品種
ハニーフレアー	肌色桃	大	90～100	—	普通	—	今までにない肌色ピンクの品種で実も大きい
ピンキーフレアー	明オレン ジ赤	巨大	70～80	中生	比較的抵抗性あり	少ない	実が非常に大きく、実の色も鮮やか
ミスティックフレアー	極淡桃	小	70～80	—	比較的抵抗性あり	—	今までにないピンクの実で光沢もあり、非常にきれいな品種

注)「第一園芸2000」講演会資料より



オレンジフレアー



キングフレアー

## 4 栽培

### (1) 種苗入手・繁殖

多くの品種が種苗登録があるので苗を購入しなければならない。通常、国内産はポット苗、輸入は裸苗が多い。

なお、種苗登録のない品種については自家増殖できる。その場合、実生が一般的だが、挿し木でも良く発根する。実生は8月以降に黒くなって乾燥した実から種子を取り出し、乾燥保存する。箱播きして発芽がそろったらポリポットに鉢上げする。用土は山土とピートモスの等量混合が良い。5月定植は9月、10月定植なら4月に播種する。挿し木は梅雨挿しか9月挿しを行う。

## (2) ほ場選定、定植準備

排水不良で根腐れをおこしやすいので、水はけが良く耕土の深いほ場を選ぶ。ただし、乾燥にも弱いので注意が必要である。また、日照条件が悪いと実付き、実の色が悪くなるので日当たりのよいほ場を選ぶ。なお、さび病の発生防止のため風通しの良いほ場の方が良い。

## (3) 土壌改良・施肥

pHは5.5～6.0の弱酸性を好む。pHが高いと葉やけが起こりやすい傾向にあるようなので高い場合には矯正しておく。

植え付け時期は、葉焼け防止のため、多肥、特に窒素過多には注意し、加里分を多目に施すこととし、堆肥を10a当たり3t、窒素：りん酸：加里をそれぞれ、2、3、4kg程度施用する。

幼木期は春から秋にかけて10a当たり窒素：りん酸：加里をそれぞれ4kg程度を数回に分けて与え、成木園では春から秋にかけて10a当たり窒素：りん酸：加里をそれぞれ10kg程度を数回に分けて与える。

## (4) 定植

ヒペリカムの苗は耐寒性はあるが、活着前に低温にあたると枯死する場合がありますので、春に定植する。また秋遅く苗が到着した場合にはハウス内で仮植えし、温度が上昇してから定植する。秋の輸入苗は11月になるので特に注意が必要である。

多湿を嫌うため、水田転作地等は高うねにする。

床幅・通路は、床幅50cm程度、通路を60cm程度とし、株間50cm程度的一条植えとする。なお、ヒペリカムは乾燥に弱いので、地際部より10cm程度の深植えにする。

定植時に十分かん水するほか、乾燥防止、雑草防除のために黒マルチ、敷きわらをする。また、風の強いほ場ではネットを一段張る。

## (5) 定植後の管理

ア 水管理：乾燥に弱いので、適宜かん水する。

イ 芽整理：3年目以降は枝が多く立ってくるので、細いシュートは適宜整理し、最終的に20本程度立たせるようにする。

ウ シングル仕立て：わき芽を欠き、一番上の花冠だけを残すようにするシングル仕立てもある。この仕立て方法は市場と相談した方がよいが、ステムがしっかりする、葉の品質がよくなる（葉焼けも減る）生産性が上がる、ブーケに使用しやすい等の利点がある。

エ 葉焼け防止：ヒペリカムは葉焼けし、商品価値を下げることもあるので、窒素肥料の少なめの施用、遮光（ただし、遮光が強すぎると、実の色が出ないので注意）、わき芽を欠きシングル仕立てにする等して、防止する。また1年目は株ができていないため、葉焼けを起こしやすいので、1年目は株づくりに専念した方がよい。

オ 台刈り：秋に行うと、株枯れの恐れがあるので、春に古枝を刈り取る。

## 5 主要病害虫とその防除対策

### (1) 病害

さび病及び地際部から茎葉が枯れ上がるくもの巢病が知られている。さび病は本県でも発生が認められて

いる。

## (2) 虫 害

加害する種類なども含めて、県内では不明な点が多い。

## 6 収穫・調製・出荷

### (1) 収穫時期

春定植の場合、品種によっては定植1年目から数本収穫できるが、2年目からは収穫量が増える。1番花の実の色が下部まで出たら収穫する。早切りすると、花持ちが悪くなるので注意する。2

### (2) 収穫方法

切りすぎると株が枯れることがあるので、株全体の半分程度の本数を収穫し、基部は2cmほど残して切り枝する。

### (3) 品質保持

暑い時期の出荷なので水揚げに注意する。収穫後はなるべく早く水にいれ、調製・結束後は枝物用の切花保存剤などで一晩水揚げして出荷する。

### (4) 出荷

1m前後の大きな枝は5本で1束とし、4～6束を1ケースとして段ボール箱で出荷する。

## 参考・引用文献

- 1) 川瀬範毅、「新特産シリーズ-枝物-」、農産漁村文化協会（平成10年）
- 2) 「朝日園芸百科 16 花木編 III 一般花木」、朝日新聞社（昭和60年）
- 3) 近藤良也、「ヒペリカム「フレアーシリーズ」の栽培技術」、農耕と園芸55(3)誠文堂新光社（平成12年）
- 4) 「第一園芸フェア2000」、講演会資料（平成12年）

# ヒペリカム栽培ごよみ

月	旬	生育状況	作業	栽培の要点	摘要																																										
3	上		定植準備	1. 作型 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">作型</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>露地</td> <td>定植年</td> <td colspan="12">◎ —————</td> </tr> <tr> <td>普通栽培</td> <td>次年度以降</td> <td colspan="12">————— (台刈り) —————</td> </tr> </tbody> </table>	作型		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	露地	定植年	◎ —————												普通栽培	次年度以降	————— (台刈り) —————												
	作型				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																															
	露地				定植年	◎ —————																																									
普通栽培	次年度以降	————— (台刈り) —————																																													
中																																															
下																																															
4	上		定植 台刈り	2. 品種 オレンジフレアー、エクセレントフレアーなど 3. 定植の準備 (1) ほ場選定 ア 排水不良で根腐れをおこしやすいので水はけが良く耕土の深いほ場を選ぶ。 イ 日照条件が悪いと実付き、実の色が悪くなるので日当たりの良いほ場を選ぶ。																																											
	中																																														
5	上	新芽	伸芽の整理	(2) 土壌改良・施肥 ア pH5.5～6.0の弱酸性を好むので pHが高い場合は矯正しておく。 イ 定植年の基肥は10a 当たり、堆肥 3 t、窒素：りん酸：加里各々 2-3-4kg 程度施用する。																																											
	中																																														
6	上	長期	開花	ウ 幼木期は春から秋にかけて10a 当たり窒素：りん酸：加里各々 4kg 程度を数回に分けて施用する。 エ 成木期は春から秋にかけて10a 当たり窒素：りん酸：加里各々 10kg 程度施用する。																																											
	中																																														
7	上	結実期	収穫・出荷	4. 定植 (1) 時期：4～5月 (2) 栽植距離：床幅50cm、通路60cm、株間50cmの1条植え (3) うね作り：水田転作等排水不良地では高うねとする。 (4) 植え付け：地際部より10cm程度の深植えとする。 (5) かん水：定植したらかん水を十分に行う。																																											
	中																																														
8	上			5. 定植後の管理 (1) 水管理：乾燥に弱いので適宜かん水する。 (2) 芽の整理：3年目以降、枝が多数立ってくるので細いシュートは適宜整理し、最終的に20本程度立たせる。																																											
	中																																														
9	上			(3) シングル仕立て：市場と相談し、必要があればわき芽を欠き、1番上の花冠だけ残す。 (4) 葉焼け防止：窒素肥料の多用は避けるほか、葉焼けが出やすいほ場では遮光やシングル仕立てを行う。																																											
	中																																														
10	上			(5) 台刈り：春に古い枝を刈り取る。																																											
	中																																														
11	上			6. 収穫 (1) 時期：1番花の実の色が下部まで着いてきたら収穫する。早切りすると日持ちが悪くなるので注意する。																																											
	中																																														
12	上			(2) 方法：株全体の半分程度の本数を残し、基部は2cmほど残して切枝する。なお、定植年は株作りの年なので、収穫は数本程度と控えめにする。																																											
	中																																														
1	上			(3) 品質保持：収穫後はなるべく早く水に入れ、調整・結束後は枝物用の切り花保存剤などで一晩水揚げして出荷する。																																											
	中																																														
2	上																																														
	中																																														
3	上																																														
	中																																														